

教育目標

病院完結型から地域完結型医療を見据え、急性期から回復期、慢性期など対象者のニーズに合った看護ができる看護師の育成

- 1) ケアミックス型病院の特性を踏まえ、様々な領域において必要な看護を提供できる
- 2) 入院早期から退院を見据えた支援ができる
- 3) 患者・家族の意思決定を支援し、意思を尊重した支援ができる

【プログラム】

	急性期（青森慈恵会病院）	回復期（青森慈恵会病院）	慢性期（慈恵会関連施設の病院 ・老健・訪問看護）
期間	3年	2年	1年
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアにおける機能分化を理解し急性期病院の役割を理解する。 ・年間700件以上の整形外科手術を行う青森慈恵会病院急性期病棟で、入院から周術期における看護を経験し、展開の早い急性期看護のスキルを習得する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアにおける回復期病棟としての医療、看護の現場を経験し、対象者の生活を見据えた援助、退院支援を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアにおける慢性期病棟・施設での医療・看護の特徴を理解する。 ・青森圏域の地域医療全体と地域連携について理解することができる。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 看護師として必要な実践力を身につけることができる。 ・対象患者の疾患や治療に必要な情報収集ができ、看護計画作成に活用できる。 ・常に患者の変化に気を配り、特に急変の兆候に早期に気づき、連絡するなどの対応ができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 回復における患者のニーズを捉え、個別性に応じた援助ができる。 ・患者の退院後・転院後の生活がイメージでき、退院に向けて必要な退院支援を提供できる。 ・適切な患者教育ができる。 ・継続看護の必要性及び社会資源につ 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 長期にわたり療養が必要な患者の特徴を理解し、必要なケアを実践できる。 ・疾患の急性増悪を回避するために予測的判断のもと、多面的に情報収集ができる。 ・患者に合った社会資源について

	<ul style="list-style-type: none"> ・3年目には、自立し個別性のある看護展開ができる。 2) 急性期医療について理解し、患者の全体像を捉え、シームレスな看護が提供できる。 ・急性の経過をたどる患者及び家族に対して救命に必要なスキル、苦痛の緩和、早期回復に向けてのケアを実践できる。 ・周術期（主に整形外科）にある患者の経過を理解し、実践できる。 	<ul style="list-style-type: none"> いて理解し、必要とされる社会資源の調整ができる。 2) 回復期における各職種の役割を理解することができる。 ・退院に向けての多職種連携を実践することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 理解し、必要な社会資源の調整ができる。 ・患者の意思決定を支える看護を提供できる。 2) 各施設の特徴・役割を理解することができる。 ・施設間連携を実践できる。
方法	<ul style="list-style-type: none"> ・当院でのラダーに則った新人教育 ・院内外の研修の参加 （基本的な看護技術、BLS など） ・多職種チームの活動に参加する ・クリティカルパス活用を経験する ・リーダー業務を経験する ・総合相談室への実習（3日間） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ラダーに則った継続教育 ・院内外の研修の参加 （退院支援、プライマリー） ・プライマリーを経験し、患者教育を経験する ・多職種カンファレンスへの参加 ・多職種連携の実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・関連施設病院、関連施設での看護ケアを経験する ・多職種カンファレンスへの参加
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・新人チェックリストによるチェックとメンター・所属長による評価 ・面談の実施 ・1年目：ケーススタディ 2年目：グループ症例検討 3年目：症例検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・メンター・所属長による評価 ・面談の実施 ・ケースレポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者・所属長による評価 ・面談の実施 ・ケースレポート
備考			